

# 第4回 親子孫子で楽しむアート ～和紙で造形してみよう～

2016年10月9日（日）

10:00～12:30（30分前より受付開始）

場所 甲南大学18号館3階講演室

10:00～10:10 インタロダクション

10:10～12:00 制作

12:00～12:30 シェアリング

☆参加無料&材料不要☆

定員18名（先着順）

親子孫子でお誘い合わせの上、  
お気軽にご参加ください。

特別な配慮が必要な場合は  
事前にご相談ください。

講師 椋田三佳（美術家）

企画 内藤あかね（甲南大学心理臨床カウンセリングルーム相談員）

お申し込み・お問い合わせ

参加ご希望の方は、①名前②連絡先③e-mailアドレス（お持ちの方）

④専門職の方は所属先を明記し、10月7日までに甲南大学心理臨床  
カウンセリングルームまでe-mail／電話／FAXでお申し込みください。

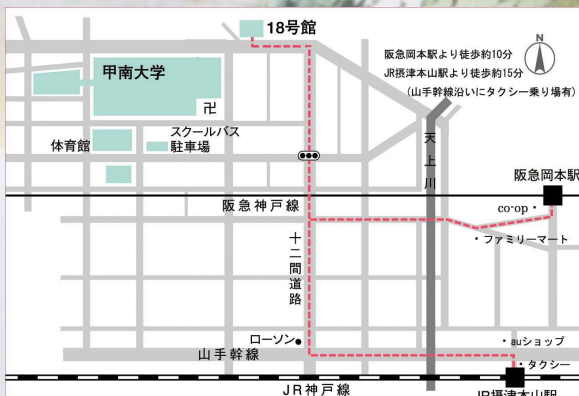
E-mail: cc-room@center.konan-u.ac.jp

電話／FAX: (078)453-6183（電話は10～17時まで）

親子孫子で楽しく健やかな時間を過ごしたい…。そんな風にお考えの方も多いのではないのでしょうか。今回で4回目を迎えるワークショップは、アート（表現行為）を親子で一緒に体験することで、創造的な時間を共有し、自分や家族の関係を見つめなおす時間をもたらします。

和紙は2014年に世界無形文化遺産に登録されました。今回のワークショップでは、この和紙を使って立体物を創作してみます。花びらの形に和紙をちぎってキャンドルライトをつくる、和紙とワイヤーを使ったオブジェをつくる…。手順は簡単でもどんな作品に仕上がるかは作り手次第。ご指導いただく椋田三佳さんは、水墨画家としてご活躍中で、誰もが気楽に楽しめる創作の時間を提供してくださいませ。また、アートセラピー（芸術療法）のワークショップもご専門であるため、心理学的にも有意義な体験となるでしょう。

**アートセラピーとは？** 描画や造形などの創作・表現活動を介して、心身に働きかけ治療効果を促す心理療法の一分野です。精神医療施設や高齢者医療・介護施設では折り紙や貼り絵などのアートをアクティビティの一つとして採り入れています。今回のワークショップでも、そのような芸術療法、心理臨床、子育て支援、医療介護福祉に関心のある方々のご参加を歓迎しています。アートセラピーへの応用を考える上で、体験的な学びの機会になるのではないのでしょうか。



**甲南アトリエとは？** 甲南大学のある阪神間は、画廊や美術館、美術教室、障がい者アートのアトリエも多く、古くから芸術にかかわりの深い地域です。また阪神淡路大震災や神戸大空襲に見舞われたこの地域では、トラウマに今なお苦しむ人もいらっしゃるかもしれません。そのような地域に根ざした活動を目指す甲南大学人間科学研究所では、臨床心理学と芸術学の専門家をメインとし、地域との協働によって「癒す力」と「育てる力」を育てていきたいと考えています。そして、地域に開かれた活動を目指す中で、実践プログラムとして「甲南アトリエ」と称して、子育て支援の研究会やワークショップを催しています。

主催 甲南大学人間科学研究所  
〒658-8501 神戸市東灘区岡本8丁目9番1号  
電話/FAX 078-435-2683  
E-mail kihis@center.konan-u.ac.jp  
URL <http://kihis-konan-univ.org>